



学報

contents

聖書のこぼれ	1
特集 リハビリテーション学部 10周年記念事業	2
特集 聖灯祭・ホームカミングデー	3
就職支援	5
クリストファーニュース	7
聖隷学園から	9
後援会から	11
2014年度研究助成	12
私の教育・研究	13
国際交流レポート	14
奨学金・教員の著書紹介	裏表紙

学報 Vol.44 2014年12月
SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY REPORT

発行者 聖隷クリストファー大学 <http://www.seirei.ac.jp>
〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406



故 難波千鳥様からの奨学資金寄贈について

本学は、故難波千鳥様のご遺族から、奨学資金2,000万円のご寄付を賜ることになりました。難波千鳥様は、1914年1月18日にお生まれになり、聖隷事業の創業期から結核患者の看護に携わられました。聖隷三方原病院では看護婦長として、聖隷の看護の礎を築いてこられました。また聖隷学園が現聖隷クリストファー大学の前身である聖隷准看護学園を設置してからは教務主任として、聖隷の教育の土台を据えてくださいました。晩年は聖隷グループの施設である老人ホーム「もくせい」の里」、特別養護老人ホーム「浜松十字の園」で過ごされ、2012年1月22日聖隷三方原病院ホスピスにて98歳の天寿を全うされました。お亡骸は献体として捧げられ、2014年12月5日にご遺骨となられたのち、自ら信仰を養われた遠州栄光教会にお戻りになりました。

この度、難波様のご遺族より、ご遺志に基づいてご寄付を賜ることになりました。生涯を聖隷の事業とともに歩まれた難波様を偲び、看護師および介護福祉士の養成に活かしてほしいとご要請を受け、その全額を奨学資金として活用させていただくことといたしました。

難波千鳥様の生涯に鑑みて、看護師または介護福祉士を目指す学生に奨学資金として活用されますよう、ご案内申し上げます。

なお、本学には独自の奨学金として既に「M.H.奨学金(給付)」、「TOMI奨学金(給付)」、「菅野・太田・長谷川奨学金(貸与)」、「同窓会・後援会奨学金(貸与)」があり、また聖隷グループの奨学金として「聖隷奨学会奨学金(貸与:返還免除制度あり)」、「ニッセイ聖隷健康福祉財団奨学金(貸与)」があります。さらに、一般の奨学金として日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金など8種類の制度がありますので、併せてご活用ください。

奨学金の詳細は、大学ホームページ、大学CAMPUS LIFE(学生生活の手引き)でご覧いただける他、ご相談は「学生サービスセンター(電話:053-436-1125)」で承っておりますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

著書紹介



小児看護学
オーム社
2014年3月



豆チョコ
母性小児ケア
照林社
2014年5月

著者 看護学部看護学科 教授
いちえ かずこ
市江 和子



『小児看護学』は、2007年2月に発刊した『看護系標準教科書 小児看護学』の後継版として、小児医療と看護の変化に対応し、新知見の集積を反映させて作成した。同時に教科書としての利便性の向上を図り、看護師国家試験の出題基準に準拠している。「演習問題」や「コラム」を取り入れるなど、各種の工夫を凝らし、学生にさらに学びやすく、理解しやすいようにまとめている。

『豆チョコ 母性小児ケア』は、臨床で役立つデータを、「アセスメント」、「急変対応」、「ケア・処置」、「精神・心理的問題」、「検査・薬剤」などについて項目ごとに整理した。臨床で、必要な時に、すぐに使えるポケットマニュアルとしている。

2つの著書は、より理解しやすく、具体的な内容を掲載することを目標とした。本書が、小児看護・母性看護を学ぶ学生、実践されている看護職の方々にとって基本的な知識の確認に活用され、小児とその家族の最善の利益が保障される実践につながることを願っている。

学報へのご意見・ご感想をお寄せください

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えております。ご協力お願い申し上げます。

学報アンケート
→ <http://blg.seirei.ac.jp/d/>
携帯電話からもアクセスできます



聖書のことば

「主は恵み深く、イスラエルに対する慈しみはとこしえに」と唱和して、主を賛美し、感謝した。主の神殿の基礎が据えられたので、民も皆、主を賛美し大きな叫び声をあげた。昔の神殿を見たことのある多くの年取った祭司、レビ人、家長たちは、この神殿の基礎が据えられるのを見て大声をあげて泣き、また多くの者が喜びの叫び声をあげた。人々は喜びの叫び声と民の泣く声を識別することができなかつた。民の叫び声は非常に大きく、遠くまで響いたからである。

エズラ記 3章 11-13節

ダビデによって準備され、その子ソロモンによって完成を見たエルサレム神殿。その威光は世界にとどろき、シェバの女王がソロモンを訪問したと聖書にある。しかし、盛者必衰の理の如くか、ソロモンの栄華と言えども神との関係の破れの中、衰退していった。神への背反による裁きは、国の礎である神殿もろともバビロンによる蹂躪と異教の地への捕囚を齎した。

憐れみに富む神は、「イスラエルよ、あなたがたはどうして死んでよかるうか。翻って生きよ」と神への立ち返りを促し、繁栄の回復という新しい契約の締結を宣言なされた。

イスラエルの民は、先ず神殿再建に携わりその基礎を据え得た。その時である。民は自らの不義を悔い改めることにより神の栄光に包まれ、歓喜の声と嗚咽の入り混じった叫びを轟然の音のように響き渡らせたのである。

悔い改めと荊冠のイエスへの投錨は、人間に心の眼を開かせる。そして、心の底から新たにされた人間は、主にあつて万事が益となるような生き方が可能となる。

神は自ら私たちの罪を担われ、その御傷によって私たちは赦されているから。

聖隷学園宗教主任 永井 英司

[特集]リハビリテーション学部

10周年記念事業

看護学部、社会福祉学部に次いで2004年4月に開設されたリハビリテーション学部は、今年3月で10周年を迎え、11月1日に10周年記念事業を聖灯祭・ホームカミングデーと同日で開催しました。10周年記念事業では、聖隷クリストファー・リハビリテーション学会の設立のお知らせ、元プロ陸上競技選手の為末大氏による記念講演会、リハビリテーション学部10周年記念ロゴマークの発表を行いました。



リハビリテーション学部長 おおき しょうへい 大城 昌平

2004年4月に開設されたリハビリテーション学部は、今年11年目を迎えました。開設以来、本学の教育理念である「隣人愛と生命への尊厳」の精神を涵養し、深い教養と高度の専門性を兼ね備えたリハビリテーション専門職者を育成してきました。この10年の間に、本学の教育・研究の実績に対する社会的評価や期待は高まり、またこれまで輩出した卒業生や大学院修了生の活躍は各職場や地域で高い評価を得ています。開設10周年を機に、さらなる発展と社会への貢献を目指します。引き続き、皆様の本学へのご支援とご協力をお願いいたします。

記念講演会

「ハードルを超える」

元プロ陸上競技選手で400mハードル日本記録保持者の為末大氏を講師にお迎えし、ご自身の経験を踏まえて、挑戦することの大切さや壁にぶつかった時の対処法、モチベーションの保ち方などについてご講演いただきました。一般の方、本学在学学生、卒業生・修了生および教職員など約360名が聴講しました。



SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY
Department of Rehabilitation

東京都の田村貞夫氏の考案したデザインがリハビリテーション学部10周年記念ロゴマークに選出されました。

卒業生より

浜松十字の園
理学療法士
後藤未来さん

この度は聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部開設10周年、おめでとうございます。我が母校の特徴は、学部や学科・専攻を越えた横の繋がりがだけでなく、学部生と大学院生、卒業生・修了生といった、学年を越えた縦の繋がりが強いことだと思っています。更にその関係は卒業・修了後も続き、私の勤務先で大学に隣接する「浜松十字の園」でも理学療法士、作業療法士の卒業生6名が学部生の時からの縦の繋がりをもち、高いレベルでのリハビリテーションを提供できるように奮闘しながら、日々、利用者や入居者の笑顔を目指しています。今後も繋がりの強さが継承されていくことを願っています。



「浜松十字の園」の卒業生6名
前列右側/後藤(旧姓:和久田)さん

学会設立のお知らせ

11月1日に念願の聖隷クリストファー・リハビリテーション学会が設立されました。本会は、会員相互の学術的研鑽および親睦・交流をはかることで、リハビリテーション専門職者としての知識と技術の向上をはかり、リハビリテーション科学の発展に寄与することを目的としています。これまで培ってきた聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部の伝統と実績を卒業生・修了生・教職員が協力することで、今後さらに発展させていきたいと考えています。一人でも多くの方の会員登録を切に願っております。ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

聖灯祭

11月1日、聖灯祭を開催しました。在学生、卒業生・修了生、教職員から近隣の福祉施設の方、周辺にお住まいのお子様からご高齢の方まで、大勢の方にご来場いただきました。秋雨の中での聖灯祭となりましたが、キャンパスのいたるところで参加された皆様の笑顔や笑い声が溢れ、大変な盛り上がりを見せた1日となりました。

絆 ～つなごう～

聖灯祭
実行委員
より

聖灯祭をふりかえって



リハビリテーション学部
理学療法学科 2年次生
さかきばら かずま
榊原 一真



看護学部
看護学科 2年次生
かわもと ひろこ
川本 寛子

今年の聖灯祭のテーマ「絆～つなごう～」は、地域の方や大学関係者、他学部の学生と絆を深め、聖灯祭を盛り上げたいという思いから決定しました。当日はあいにくの天候で、予定していたプログラムを急遽変更することもありましたが、皆様のご協力もあり、大きなトラブルもなく無事聖灯祭を終えることができました。雨の中での準備や片付けは苦労することも多くありましたが、結果的に多くの方と絆を深めることに繋がりました。

最後になりますが、聖灯祭にご来場くださいました皆様、そしてご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

健康祭

健康祭では看護学部、社会福祉学部、リハビリテーション学部の各学部・学科の学びの特色が活かされた体験ブースが設けられました。



こども教育福祉学科・子育てひろばたっくん

模擬店・サークル発表など

各サークルや福祉施設の方々、教員らによる模擬店が開かれました。またステージや各教室ではダンスサークルや茶道部などの発表が行われました。



ダンスサークル「メリーバピー」



テニスサークル「プレイヤーズ」



スポーツサークル「遊部」模擬店



音楽サークル「コーロ・カリタ」



社会福祉法人「三幸会」模擬店



「琴部」琴(生田流箏曲)の演奏



「茶道部」お茶会の様子



看護学科・アロママッサージ



理学療法学科・体力測定コーナー



言語聴覚学科・嚙下コーナー



作業療法学科・革細工コーナー

HCD(ホームカミングデー)



ウェルカムセンター



交流会・勉強会
(リハビリテーション系)



交流会・勉強会(看護系)



交流会・勉強会(福祉系)



ウェルカムセレモニー・
プラスバンドサークルの演奏

オークラアクトシティ
ホテル浜松でのパーティ



東日本大震災被災地への
応援メッセージ



ホームカミングデー

本学の卒業生、修了生は10,000名を超え、「聖隷」の卒業生・修了生の輪は日本中へ広がっています。今年で8回目を迎えたホームカミングデーは短期大学、ヘルパー学園、専門学校、大学学部、大学院の卒業生・修了生の皆様に母校に帰ってきていただき、現在の本学の様子を知っていただくとともに、同窓生や先輩・後輩と旧交を温め、教職員と交流をしていただきたいと思います。ホームカミングデーは聖灯祭と同日開催をしており、今年は351名の卒業生・修了生にお越しいただきました。

HOME COMING DAY 2014



ウェルカムセレモニー

ホームカミングデーを終えて



ホームカミングデー実行委員長
にしお ちづよ
西尾 千鶴代 聖隷学園浜松衛生短期大学
第二衛生看護科 1974年度卒業

今年のホームカミングデーは悪天候にもかかわらず、多くの方にご参加いただき、無事開催することができました。ありがとうございました。受付には、赤ちゃんを連れた姿、懐かしさと嬉しさに手を取り合って話し込む姿があり、とても和やかな雰囲気でした。

また、領域ごとの交流会・勉強会ではそれぞれに収穫があったと思います。

ホームカミングデーを終え、出会いと充実感と喜びが味わえたことに感謝いたします。聖隷の卒業生・修了生の皆様、ホームカミングデーを専門職同士の交流の機会として、また情報交換の場として大いに活用されることを願うと同時に、末永く続くよう盛り上げていただけることを願っています。

速報

2014年度就職内定状況について

2014年度に卒業・修了する学生の就職進学希望者は12月3日現在359名で、就職内定者と大学院・助産学専攻科などへ進学が決まった学生数は299名にのぼります。内定率は例年と同程度の83.3%です。看護学部、社会福祉学部、リハビリテーション学部ともに順調に内定をいただいています。リハビリテーション学部、社会福祉学部の多くの学生は、まだ採用選考の途中であり、採用試験に臨んでいます。

また、求人時期が遅い社会福祉学部の精神保健福祉や児童福祉関係、リハビリテーション学部の小児・発達の領域を希望している学生は、希望領域の求人が出るのを待って、就職活動をしていきます。

	卒業 予定者数 (名)	就職進学 希望者数 (名)	就職 内定者数 (名)	大学院・ 助産学専攻科等 進学者数(名)	内定率(%)	
看護学部	162	162	141	8	92.0	
助産学専攻科	17	17	16	0	94.1	
社会福祉 学部	社会福祉学科	40	39	22	0	56.4
	介護福祉学科	23	21	19	0	90.5
	こども教育福祉学科	40	40	35	0	87.5
リハビリ テーシ ョン 学部	理学療法学科	34	34	32	0	94.1
	作業療法学科	30	30	22	0	73.3
	言語聴覚学科	16	16	4	0	25.0
大学計	362	359	291	8	83.3	

3年次生は、10月に秋セメスターの就職ガイダンス、11月から3月にかけて卒業生による仕事報告会や4年次生による就職活動報告会、SPI対策模擬テスト、履歴書の書き方・面接の受け方講座などがあります。3月には、1・2・3年次生を対象とした、論作文対策講座や筆記試験対策講座を予定しています。

1・2年次生には、日々の授業や学生生活での様々な体験を大切にするように就職ガイダンスの際に話をしました。

各学部の就職委員(教員)から3年次生の保護者の方へのメッセージ

看護学部



就職委員
准教授
のざき れいこ
野崎 玲子

看護学部の3年次生は、10月下旬から翌年7月まで、成人(急性期、慢性)看護学実習をはじめ、母性・小児・老年看護学実習など7つの領域の実習と統合実習を行います。また、翌年9月には、保健師課程を選択した学生は公衆衛生看護学実習、養護教諭課程では養護実習を行います。これらの実習を通して、実習先で出会う対象者や看護師、保健師、養護教諭の方との関わりの中で自分のやりたいことや適性を考えて、就職先を絞り込んでいって欲しいと思います。

11月には、4年次生が3年次生に対して「就職活動報告会」を行いました。そして、3月には様々な領域(外科系、内科系、小児系、保健師など)で働いている卒業生との懇談会が開催されます。可能であれば春休みを利用して、希望する施設のインターンシップへ参加するのも良いと思います。

4年次の4月には、静岡県・愛知県東三河地区の「学内病院説明会」を開催します。就職先を選定するポイントとして、勤務体制が3交代勤務か2交代勤務か、看護体制として2人で複数の患者を受け持つパートナーシップナーシングシステムなどを取り入れているか、また卒業後の内容や教育支援としてプリセプター制度※を取り入れているかなどが挙げられ、病院説明会を活用して様々な情報を得ることが重要です。就職先をおおよそ決めている学生も、他の病院の特徴を知り、比較などができる良い機会なので参加することをお勧めします。

※プリセプター制度:1人の新人看護師に対して1人の先輩看護師が付き、ある一定期間、マンツーマンで臨床実践を指導・教育していくシステム。

社会福祉学部



就職委員
介護福祉学科 講師
すぎやま せつ子
杉山 せつ子

社会福祉学部の学生は主に福祉・医療現場や一般企業、官公庁などへ就職し、昨年度の就職希望者の就職率は100%となっています。

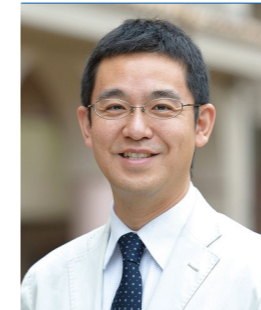
3年次生は、この秋から本格的な就職活動の準備が始まり、11月に「卒業生による仕事報告会」、12月には4年次生による「就職活動報告会」などの就職支援行事に参加しました。

学生は就職委員の教員や就職センター職員の支援を受け、就職対策を行っています。学生の就職に関する情報は、すべてこの就職センターに集められており、求人情報、卒業生が残してくれた就職活動報告書はいつでも閲覧可能です。

また、就職委員の教員以外にも、学生一人ひとりにアドバイザー教員がおり、面談や卒業研究の指導を通して学生の強み(売り)の強化を支援しています。学生は実習体験や就職行事への参加、インターネットによる検索、就職相談会への参加、福祉現場でのボランティアや見学、インターンシップなどで情報収集をして、自己と向き合いながら就職先を判断します。学生本人が望む施設や企業へ就職ができるよう教職員、一丸となって支援してまいります。

保護者の皆様におかれましても、人生の大切な決断が本人の意思で行われるよう、ご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

リハビリテーション学部



就職委員
理学療法学科 助教
きんばら かずひろ
金原 一宏

リハビリテーション学部の就職活動は、早い学生では4年次生の春から開始します。一般的な大学の就職活動と比較すると、開始時期が遅く感じられる方も多いかと思います。その理由は、リハビリテーションに関わる職種は、国家試験に合格しなければ病院などの施設で働けないからです。そのため、受験した学生が国家試験に合格することを見越して内定を出さなければならないことから、就職試験は一般の企業より遅くなります。就職試験は、各職種に必要な知識と専門職種に求められる技術の両方で行われます。また、就職試験前に1日かけて施設見学を求められることもあります。施設側がこの時の学生と患者さんとの会話を通して人物評価をする場合もあるため、この点についても就職指導を行っています。

本学のカリキュラムは、学生が自ら意欲的に講義に取り組めるよう、1年次生から臨床現場に出向き、見学や体験を通してモチベーションを高めていく構成となっています。自ら目標とする職種を早くから体験することは、学修理解を促し、医療に携わる社会人としての接遇や態度、考え方を学ぶことにも繋がります。3年次には長期の実習が始まり、学生は各職種の様々な分野を学び、体験し、更に就職先の施設選びの参考とします。現在、就職試験は多様化しています。大学での学修を継続しつつ、ボランティアやサークル活動などを通して人間関係を構築し、数多くの経験から自身の成長を促すことが、就職活動には大切です。

介護福祉の魅力を伝える「介護未来プロジェクト」がスタートしました



社会福祉学部介護福祉学科では、介護福祉の魅力を発信する「介護未来プロジェクト」をスタートさせました。このプロジェクトは「明るい介護福祉の未来を考える」というコンセプトの基、若者をはじめ地域の皆様に介護福祉のやりがいや面白さを知っていただくことを目的としています。

介護未来プロジェクトのホームページ(kaigomirai.jp)では、第一線で活躍する介護福祉士のインタビューや、福祉施設の先進的な取り組みを掲載するなど、高齢者の「お世話」ではなく「自立を支援する」という新しい介護福祉の仕事について発信しています。その他にも「大学と介護福祉」という冊子を制作・配布したり、7月には静岡市・浜松市で「悩み解消!介護福祉講座」と銘打った公開セミナーを開いたり、「福祉・介護フォトエッセイコンテスト」を開くなど大学だけでなく福祉施設・卒業生・在学生も一緒に活動しています。これらの活動を広めるため、ポスターやチラシ、しおり(静岡県内の谷島屋書店さんに設置)を作るなどして、このプロジェクトの認知に努めています。ぜひ保護者の皆様もホームページをご覧ください、「介護未来プロジェクト」の展開にご協力ください。

2014年9月1日付
静岡新聞に掲載されました。



2014年度専門職連携教育を実施しました



9月16日～19日の4日間、4年次生は「専門職連携演習」に取り組みました。看護学部、リハビリテーション学部、社会福祉学部の3学部7学科の学生が対人援助における専門職者同士の連携と協働に関して、その意義と実践方法について理解を深めるために実施しています。

これまでの講義や演習・実習などから学んだ経験を再確認し、さまざまな事例に対して他学部学生とともに連携を図ります。

学生は8つのグループに分かれ、患者役の学生の疾患・障がい、年齢、家族構成などの事例を作成し、その事例に対する「各専門職の介入・連携の仕方」をロールプレイングとしてまとめ、発表をしました。学生は職種ごとにおける専門性から、問題として捉えるポイントの違いを感じながらも患者さんご家族が過ごしやすい生活を送ることができるよう、話し合いを通して問題解決を図っていきました。

また、1年次生も9月18日～19日の2日間、「専門職連携の基礎」に取り組みました。教員・4年次生によるプレゼンテーションやビデオ学習などから「専門職連携」について感じたことや考えたことをグループに分かれて話し合いました。



作業療法学科の2年次生がベンチを寄贈しました



7月18日、リハビリテーション学部作業療法学科の2年次生が「作業技術学I」の授業で手作りをした6脚の木製ベンチを6箇所の近隣福祉施設へ寄贈しました。

「作業技術学I」は、作業療法士がリハビリテーションに用いる手法を実践的に学ぶ授業です。木工などの軽作業を通してリハビリを行う「作業療法」の手法について、ベンチを製作することで学びます。

ベンチを製作した学生からは「利用者さんにゆったり座ってもらえるよう背もたれを高くしたり、怪我を防ぐため角の部分は丁寧に削った」といった製作時の工夫が話されました。

寄贈先の1つ、大東デイサービスセンターの方からは「とてもよくできていて、私も利用者さんと一緒に座りたい」とお褒めの言葉をいただきました。なお、今回の様子は地元の新聞にも記事として掲載されました。

保健福祉実践開発研究センター 2014年度 公開セミナー・公開講座 [実施報告]

専門職対象公開セミナー

対人援助の現場でいかすリーダーシップを磨こう! [6月14日(土)実施]



コミュニケーション・ホーム喜舎代表で医療分野専門人材育成コンサルタントの生利喜佐男先生にご講演いただきました。本セミナーには、主に介護福祉士や看護師をはじめとする保健医療福祉の専門職の方で、職場で管理者の立場となりリーダーシップに対して悩みをお持ちの方など123名が熱心に聴講されました。いくつかの演習を行いながら進められ、終了後のアンケートには「新たな気付きを得られて大変有意義だった」、「具体的に何をしたらよいか分かりやすかった」、「演習があり参加型だったので3時間が楽しくあっという間だった」など、多くのことを楽しんで学び取れたという声が多く寄せられました。

専門職対象公開セミナー

発達障がいを持つ人達の思春期、青年期の心理的支援・生活支援・就労支援 [7月26日(土)実施] ~多職種連携による地域支援ネットワークの展望~



基調講演は「成人期発達障がいへの就労支援を中心とした実践と課題」と題し、NPO法人障害者支援情報センター理事長の進藤義夫先生に現場での具体的な事例を数多くご紹介いただきました。シンポジウムは「思春期、青年期の発達障がいを持つ人達への心理的支援・生活支援・就労支援の実践と課題」と題し、浜松市発達相談支援センタールピロ所長の内山敏様、京丸園株式会社園主の鈴木厚志様、医療法人社団至空会ワークだんだんの和田里美様をシンポジストにお迎えし、現場での事例をもとにした意見交換を行いました。保健医療福祉の専門職の方をはじめ発達障がいに関心のある一般の方など139名が熱心に聴講されました。

一般の方対象公開講座

認知症を予防しよう(全3回) [9月4日(木)・6日(土)・11日(木)実施]



第1回「認知症を知ろう」は聖隷三方原病院浜松市認知症疾患医療センター長の磯貝聡医師をお招きし、認知症に関する基礎知識を幅広くご講演いただきました。第2回「認知症予防!認知症リハビリテーション」は本学リハビリテーション学部作業療法学科の建木健助教、第3回「認知症予防とアロマセラピー」は本学看護学部の村松美恵助教が講師を担当し、演習などを交えた講演を行いました。本講座には認知症に対して不安感があるとお考えの高齢の方を中心に各回80名ほどが参加され、終了後のアンケートでは、各回の講演を通して具体的に知識を得ることができ、今後自宅や職場などで実践できることについて満足度の高い声を多くいただきました。

聖隷クリストファー中・高等学校

3名の長期留学生を迎えています

今年9月から3名の長期留学生を迎えています。アメリカの姉妹校キャマス



「日本式で撮りたい!」ということで、3人そろって「ピース」です。左からソフィーさん・ネッタさん・ニック君

高校からニック君(イラストが得意)、オランダ出身のソフィーさん(楽器演奏が得意)、そしてフィンランド出身のネッタさん(囲碁将棋部入部)で、1学年に所属しています。

日本語はまだまだ不自由ですが、3名とも、とても気さくで明るく、何事にも物怖じせずに積極的に取り組み、充実した日本での留学生活を送っています。「学校はどうか?」と尋ねると、みんな「楽しいです」とキラキラした笑顔で

応えてくれ、たいへん頼もしく感じます。

言葉も文化も全く違う日本で苦勞しながら、いつも努力をする留学生の姿を間近で見るとは本校の生徒達にとっても、すばらしい刺激と経験になるはずです。留学生と共に学んだ経験は、将来社会に出て行った時、必ず活かせることでしょう。

多くのよい思い出を持って、来年6月末の帰国の日を迎えてくれたらと願っています。

研修旅行を終えて

高等学校では、10月に2学年が研修旅行に行ってきました。行き先はアメリカ、オーストラリア、北海道、沖縄の4コースからの選択制です。昨年までは海外コースのみで行われていたホームステイ・ファームステイ体験ですが、今回からは全コースでホームステイ・ファームステイ体験をメインとした研修が行われました。

北海道は旭川を中心に農家でファームステイ、沖縄は本島から船で30分ほどにある伊江島での民泊を実

施しました。国内コースは両コースとも台風の影響で出発が遅れました。特に北海道コースは、旭川に着いたのが深夜0時、気温4度と過酷なスケジュールになってしまいました。農家の皆さんの暖かいおもてなしの中で充実した研修ができました。

国内外で現地の人々との交流ができ

たことは、生徒たちにとって大きな財産となったことでしょう。



沖縄研修:伊江島での1枚

聖隷クリストファー大学附属 クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長 おおた まさこ
聖隷クリストファー大学 社会福祉学部こども教育福祉学科長・教授 太田 雅子

お泊り保育へお出掛けしました



7月30日~31日に5歳児クラス・らいおん組は新城市の「山びこの丘」へお泊り保育に出掛けました。ニジマスつかみ体験ではお友だちと力を合わせて魚を

追い込み、ようやく捕まえたと思ったら、勢いよく動く魚にびっくりして手を離してしまう子もいました。捕まえたニジマスは塩焼きしてもらい、皆「おいしい!」と頬張っていました。夕方からは、キャンプファイヤーと花火を楽しみました。お家の人と離れて過ごす夜に不安な子どももいましたが、日中、思いっきり遊んだ疲れがでたのか、どの子どももぐっすり寝てしまいました。

翌日の朝食では、サラダが苦手な箸をつけようとしないうちの子どもたちに対して

「残さずに何でも食べるんだよ。熱中症になってしまうよ。おばさんが小さい頃は食べ物なくて、お腹がすいても食べられなかったんだ。食べ物があるのは有り難いことだよ」と食堂のおばさんが話すのをしっかりと聞いていました。

このような大自然の中での様々な人々との交流はとても貴重な体験の1つです。



泥あそびに夢中です

この夏以降、子どもたちは園庭での泥あそびに夢中になりました。8月の終わりに保護者ボランティアの方々が、園庭の整備を行ってくれた際に、築山の中に粘土質の土を見つけ、それを1箇所を集めてくれました。

粘土質の土に水を混ぜるとドロドロになり、「手にくっつく!」などと子どもたちは目を輝かせて感触を楽しんでいま

す。今まではお団子作りがメインでしたが、この泥によって、ドーナツ、チョコレートといった、色々なお菓子作りが始まりました。水加減を調整したり、何をどのように作ろうかとイメージを膨らませたり、「遊びを通しての学び」が進行しています。



法人事務局より

2013年度決算における財務状況の概要

1. 学校法人全体の事業は中長期経営計画に基づいて推進しており、財務状況は学園全体の収支(※帰属収支差額)がプラス4.5%(1億5600万円)と計画を上回って改善しています。2013年度は特殊要因として、大学旧校舎の取り壊し他による資産処分差額が発生しており、この要因を除いた収支は9.2%(3億1900万円)です。(大学法人の全国平均値は5.2%です。)

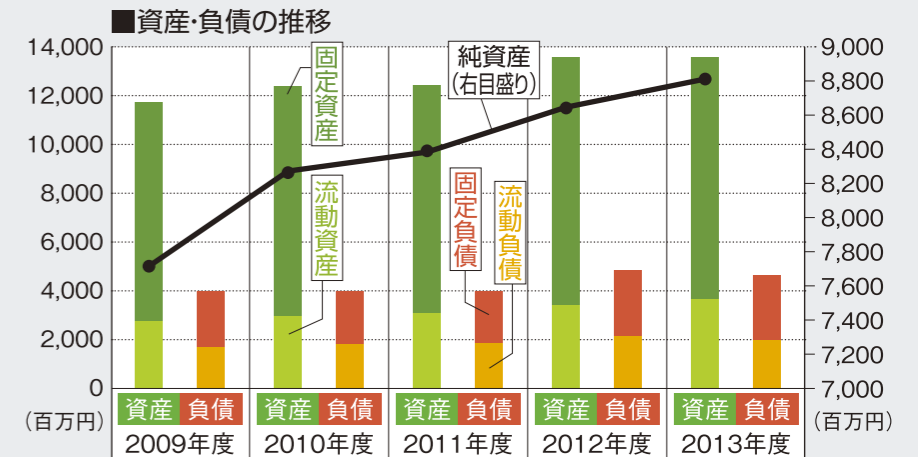
2013年度 消費収支計算書 (単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
学生生徒等納付金	2,537,823	人件費	2,128,329
手数料	63,144	教育研究経費	772,630
寄付金	60,308	管理経費	234,076
補助金	701,274	借入金等利息	37,609
資産運用収入	12,779	資産処分差額	163,733
資産売却収入	150		
事業収入	30,144		
雑収入	86,794		
帰属収入合計①	3,492,415		
基本金組入額	△112,341		
消費収入の部合計②	3,380,074	消費支出の部合計③	3,336,377
		帰属収支差額①-③	156,038
		消費収支差額②-③	43,697

※帰属収支差額(①-③)は、損益計算書の当期利益に当たります。(表示単位未満を四捨五入していますので、内訳と合計が一致しないことがあります。)

2. 2013年度末の総資産134億7700万円に対し、総負債は46億7500万円、うち有利子負債は25億6700万円です。総資産の65%は自己資金で賄われており、財務の安定性には十分な余力があります。

日本私立学校振興・共済事業団では学校法人の経営状態を指標により14区分に分類しています。本学園は上位から3番目のA3ランク(正常状態:損益ベースで黒字<10%)に分類されます。



詳しくは学園ホームページ (<http://www.seirei.ac.jp/gakuen/>) の財務状況 ⇒ 決算・財務状況の経年比較(事業報告書、財務計算書類)をご覧ください。

2014年度 保護者懇談会の報告

本学では、保護者の皆様と大学とのコミュニケーションを図る場として、また本学の教育と取り組みをご理解いただく場として、大学後援会の協力のもと、保護者懇談会を毎年開催しております。今年度も、各学部多くの保護者の皆様にご参加いただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。ご参加いただいた保護者の皆様からは、「学校生活の様子がわかり安心した」、「他の保護者の方々との交流を持てた」といった声が寄せられています。次年度も継続して、開催していきますので、ぜひともご参加いただければ幸いです。尚、次年度の保護者懇談会の日程は、決定次第ホームページにてお知らせします。

●今年度の開催状況

学部	開催日	参加者数	
看護学部	10月25日(土)	看護学科	177組 234名
社会福祉学部	7月 5日(土)	社会福祉学科	33組 35名
		介護福祉学科	18組 23名
		こども教育福祉学科	56組 69名
リハビリテーション学部	10月11日(土)	理学療法学科	62組 82名
		作業療法学科	58組 70名
		言語聴覚学科	47組 54名



看護学部



社会福祉学部



リハビリテーション学部

プログラム

- 学科・学年別による懇談会
- 昼食
- 個別相談・学内(実習室等)見学

※懇談会の形式や見学でご案内する実習室は学部ごとに異なります。

学生食堂の取り組みとメニュー

大学後援会が運営の一部を補助している学生食堂のメニューをご紹介します。現在、価格を抑えつつ栄養バランスの整った日替わりのランチA(380円)やランチB(300円)、アラカルトメニューを中心にうどんやそば、カレーライス、サラダなどを毎日提供しています。また、10月からは「ミニ丼(200円)」のほか、ローコレステロール・ローカロリーの「BAGEL & BAGEL」のベーグルやサラダとデザートがついた「ベーグルセット(260円)」の提供も始めました。

学生食堂のメニュー表にはアレルギーやカロリーも記載しており、前の週にはメニューをfacebookにて学生に配信しています。今後も在学生満足度調査などに寄せられた学生の声や要望を取り入れ、満足度の高い食堂運営を継続していきます。



1週間のメニュー表は事前に配信・掲示し、また当日のメニューはサンプルを置いています。

食堂スタッフの声



健康に配慮し、楽しく・美味しく食べていただけるよう常にメニューの充実を図っています。毎週水曜日にランチAとして販売している「カラダよるこぶメニュー」はカロリーと塩分を控えめにして、野菜・海草をたっぷり盛り込んで提供しています。

スペシャルメニューの「ホエー豚の豚カツ」は390円での提供でしたが、すぐに品切れとなりました。



保護者満足度調査アンケートのご協力をお願い

12月下旬、大学後援会より全学部学生の保護者様へ「保護者満足度調査アンケート用紙」をお送りします。大学の改善・改革につなげるため、ぜひ回答にご協力くださいようお願いいたします。なお、郵便によるメ切は1月16日(金)、インターネットによる回答のメ切は1月18日(日)です。大学1号館1階総務部前にも回収BOXを設けています。本調査は無記名で実施いたします。率直なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

保護者の皆様へ
お知らせ

■2014年度科学研究費助成事業 新規採択結果

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)は、人文・社会科学から自然科学までのあらゆる分野にわたり、独創的・先駆的な研究を進展させることを目的とする公募型研究助成制度であり、「競争的研究資金」としては日本国内で最大規模の制度です。

本学でも科学研究費獲得に向けた様々な取り組みを実施し、2014年度は新規に17件の研究課題が採択され、継続課題21件と合わせ、大学として38件の採択件数となりました(研究代表者としての採択件数のみ)。

2014年度の科学研究費助成事業配分額は、1件以上の配分を受けている私立大学が全国に569校ある中、134番目となり、医学部・薬学部を有しない医療・福祉系大学の中ではトップクラスの成績となっています。

また、国公立を含めた分野別新規採択累計件数(過去5年)において、「子ども学」は東京大学・信州大学に次ぐ全国3位、「基礎看護学」は東京大学に次ぐ全国9位となっています。

学部	学科・領域	職位	研究代表者	研究種目	研究課題
看護	基礎看護学	准教授	宇城 令	萌芽	レジリエンス・エンジニアリングによる新たな医療安全文化を醸成するシステムの開発
		助教	榎原理恵	基盤(C)	クラウドを利用した中規模病院の看護師長を養成するプログラムの開発
		助教	佐久間佐織	萌芽	ジェネラリスト看護師の気道クリアランスケアに関する教育プログラムの開発
	精神看護学	教授	篁 宗一	基盤(B)	高校生のメンタルヘルスリテラシー教育の開発と効果評価
		准教授	入江 拓	基盤(C)	ファミリーホームの密着化防止と暴力の克服に関する研究-補助者の負担感の構造から-
		助教	清水隆裕	若手(B)	精神看護場面における対人状況を表す概念モデル構築-BPD患者の行動化への対応から
公衆衛生看護学	助教	伊藤純子	若手(B)	モチベーションを高める承認(ほめる)保健指導技術教育モデルの開発	
在宅看護学	教授	酒井昌子	基盤(C)	在宅非がん高齢者の終末期ケアを支えるチームアプローチモデルの開発	
社会福祉	社会福祉学科	教授	石川瞭子	基盤(C)	心中による虐待死の未然防止に向けたチェックシートの開発
		准教授	福田俊子	基盤(C)	「不在の感覚」から生成される社会福祉実践-「中動相」の地平に着目して-
	介護福祉学科	教授	横尾恵美子	基盤(C)	管理職のための研修プログラムの開発~介護従事者の離職を防ぐための管理職の役割~
		教授	中村京子	基盤(C)	インドに応じた生活支援技術モデル開発~介護福祉教育の国際貢献のはじめとして~
こども教育福祉学科	教授	藤田美枝子	基盤(C)	子ども虐待予防のための親と援助者への支援と児童家庭支援センターの役割に関する研究	
リハビリテーション	言語聴覚学科	准教授	石津希代子	萌芽	言語優位半球同定のための聴覚評価の開発
	教養・専門基礎	教授	平野美津子	基盤(C)	外国人模擬患者を活用した「英語を使って看護ができる看護師」養成プログラムの開発
聖隷三方原病院	臨床教授	吉村浩美	基盤(C)	地方都市の急性期病院における認知症高齢者看護ケアシステムの構築	
	臨床教授	森田達也	基盤(C)	進行がん患者に対する緩和的リハビリテーションの効果についてのミクスドメソッド研究	

科学研究費の 主な研究種目

基盤研究

1人又は複数の研究者が共同して行う
独創的・先駆的な研究(期間3~5年)

応募額によりA・B・Cに区分
(A)2,000万円以上5,000万円以下
(B)500万円以上2,000万円以下
(C)500万円以下

若手研究

39歳以下の研究者が1人で行う研究
(期間2~4年)

応募額によりA・Bに区分
(A)500万円以上3,000万円以下
(B)500万円以下

挑戦的萌芽研究

独創的な発想に基づく、挑戦的で高い
目標設定を掲げた芽生え期の研究
(期間1~3年)

1課題500万円以下

■2014年度学外助成金 新規採択結果(科学研究費を除く)

学部	学科・領域	職位	研究代表者	配分機関 助成制度名称	研究課題
看護	基礎看護学	准教授	宇城 令	聖隷浜松病院 平成26年度 聖隷浜松病院看護部研究助成金	職場内における中堅職員の育成
	小児看護学	教授	市江和子	聖隷浜松病院 平成26年度 聖隷浜松病院看護部研究助成金	CAPSS周産期チェックリストの運用
	精神看護学	教授	篁 宗一	財団法人メンタルヘルス岡本記念財団 平成26年度研究・活動助成	精神疾患の早期予防を目的とした中学校への アウトリーチ活動の実践による効果評価
	地域看護学	教授	川村佐和子	聖隷浜松病院 平成26年度 聖隷浜松病院看護部研究助成金	退院支援における医療・地域連携ツールの開発
リハビリテーション	言語聴覚学科	教授	藤原百合	大和日英基金 大和日英基金奨励助成	Promoting standardization and reliability of Japanese cleft palate speech assessment by learning from GOS.SP.ASS and CAPS-A

生命の尊厳と隣人愛を実践する 看護専門職者の養成

看護学部長・教授 やました かえこ
山下 香枝子

- 学歴：名古屋大学付属看護学校卒、女子栄養大学栄養学部卒、
聖路加看護大学大学院看護学研究科修士課程修了・博士後期課程満期退学
- 主な所属学会：日本看護科学学会、日本看護学研究学会、日本女性心身医学会、
日本老年看護学会、日本老年泌尿器科学会、日本排尿機能学会



Q1 先生の学びのきっかけについて 教えてください。

私が小学校4～5年生の頃だったと思いますが、級友の妹さんが入院して手術を受けるということになりました。その子はたいへん利発でしたので、私はその子の勉学が入院中に遅れてしまうことが気になりました。そして、自分がナースになって、ベッドサイドで勉強を教えてあげたいものだと強く思いました。それがナースのことを考えた最初であったと思います。その後、暫くは病人やナースのことは脳裏からすっかり消えていました。

具体的にナースになろうと考えたのは、それから6～7年を経て、父親の甲状腺クルーズに遭遇した時でした。子どもたちに優しく父親の体重がみるみる減少していき、息苦しさを訴え、肺結核を疑われたり、当時(昭和30年代初め)は、近隣の医師や病院でも父の病因が解明できず、家族でオロオロしていた時、「自分がナースになって、見えない正体を探したい」と思った瞬間に、「ナースになろう・なりたい」と決意しました。

看護学校時代の学びは、大変エキサイティングでした。呼吸・循環・代謝・栄養など、学ぶほどに「体は賢い」と思い、私が考え・行動する前に、体が正確に反応している現象に魅了さ

れてしまいました。ヘンダーソンの『看護の基本となるもの』が出版された頃でした。

Q2 大学院では どのような学びができますか？

看護学研究科には、高度な看護学の知識・技術を看護実践に活かすことができる看護専門職者・実践家を養成する博士前期課程(CNS※1コース含む)と、看護学を自立して研究でき、優れた研究成果を生み出すことのできる研究者を育てる博士後期課程があります。

本研究科には自主性、自律性、多様性が尊重される豊かな人間関係とインフラが備わっています。テーマは大学院生の興味関心、つまり人間の生から死まで、マイクロからマクロまで、幸福から悲哀まで…の多様な課題に取り組みます。変化のスピードが速い現在の社会で研究を継続するには、研究者の情熱、試作と修正を重ねていくクリエイティブな環境、さらに周囲のサポート的な寛容さも必須だと考えます。

Q3 現在取り組まれている研究や 活動について教えてください。

高齢者の死生観や看取り、尿失禁・排尿問題が関心事です。これらは人間の尊厳や自尊感情にも直結し、さらに高齢者の個人史、QOL※2と深く関係するため、老年看護学を担当する者にとっては、避けて通れない課題です。

これらの研究には、思いやり、慎重さと根気が必要ですが、近い将来の自己像を描きつつ、対応策を考えているようで、楽しみながらチャレンジしています。

※1 / CNS (Certified Nurse Specialistの略)
ある特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を有することを認められた者。専門看護師。複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族および集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた看護師。
※2 / QOL (Quality Of Lifeの略)
人々の生活を物質的な面から量的にのみとらえるのではなく、精神的な豊かさや満足度も含めて、質的にとらえる考え方。生命の質。



大学院での授業の様子

→ 国際交流レポート

本学学生20名が シンガポール研修に参加しました

9月6日～14日、本学交流協定締結校であるナンヤン理工学院(以下NYP)を受け入れ拠点として実施したシンガポール研修に、看護学部生12名、リハビリテーション学部理学療法学科生4名、同学部作業療法学科生4名が参加しました。この研修は、世界でも高く評価されているシンガポールの保健医療福祉事情を学ぶだけでなく、保健医療福祉分野で同じ専門職を



帰国日、深夜便にも関わらず空港まで見送りに来てくれたNYPの学生達と

志すNYP学生達と交流を深めることも大きな目的の1つとしています。学生達は英語の壁を感じながらも、NYP学生宅でのホームステイ体験などを通して、国際交流の楽しさや意義を理解しました。研修に参加した学生が将来、国際社会で活躍することを期待しています。

学生支援協議会より

学生相談研修会を 開催しました



8月25日に教職員対象の「学生相談研修会」を開催しました。第1部は、講師に静岡県精神保健福祉センター所長の内田勝久先生をお迎えし「メンタルヘルスについて(うつ病とうつ・自殺対策)」とのテーマでお話しいただきました。相談者の話を親身になって聴くことで、相談者が自ら悩みを解決していく潜在力が引き出されるという講師の説明に、受講した教職員から「聴く」ことの目的、意義、大切さが理解できたという感想や、この研修会で得た知識、情報を今後の学生への対応に活かしたいという感想が多く聞かれました。第2部は新任アドバイザー教員対象の学生相談に関する意見交換会を行いました。

※学生支援協議会は、学生部長、学生部教員、健康管理センターおよび学生サービスセンターの職員で構成されており、学生の皆さんの学生生活がより充実したものとなるよう支援することを目的として活動しています。

新任教員の紹介

- ①出身校 ②前任教・前勤務先 ③専門分野 ④メッセージ



社会福祉学部こども教育福祉学科

しばさき
准教授 柴崎 かがり

①国立音楽大学、東京学芸大学大学院修士課程、英キール大学大学院修士課程、英ローハンプトン大学大学院博士課程②英ローハンプトン大学③音楽発達心理学／音楽社会心理学④何かを学び、理解するうえで「聴く」ことはとても大切なことだと思っています。日常生活における音や音楽の役割について学生の皆さんと一緒に考えていきたいです。



Graduation Ceremony INFORMATION

今年度の 卒業式・卒業パーティは 3月10日に行います

「2014年度卒業式・修了式」はアクトシティ浜松中ホールにて、「卒業パーティ」はグランドホテル浜松にて、2015年3月10日(火)に行います。卒業年次生の保護者の皆様には追ってご案内状をお送りいたします。多くの保護者の皆様のご出席をお待ちしております。

2014年度 国家試験日程

	試験日	合格発表日
看護師	2015年 2/22(日)	2015年 3/25(水)
保健師	2015年 2/20(金)	2015年 3/25(水)
助産師	2015年 2/19(木)	2015年 3/25(水)
社会福祉士	2015年 1/25(日)	2015年 3/13(金)
精神保健福祉士	2015年 1/24(土) 1/25(日)	2015年 3/13(金)
理学療法士	2015年 3/ 1(日)	2015年 3/30(月)
作業療法士	2015年 3/ 1(日)	2015年 3/30(月)
言語聴覚士	2015年 2/21(土)	2015年 3/27(金)